

令和5年度学校評価 第1回本校職員アンケート結果（自己評価）

実施期間：令和5年6月19日（月）～6月30日（金）

実施方法：グーグルフォームによるアンケート回答

対象者数：本校職員16人

回答者数：本校職員15人

重点実践事項に基づいた評価

<p><b>【重点実践事項1】</b> 教育のプロとして高い使命感・職責感をもち、全職員の協働とアイデアでやりがいを感じながら業務を行う。</p>		
1	広い視野と長期的な視点を持ち、少人数のメリットを生かすために工夫して指導を行っているか。	3. 3
2	業務改善に向けて、課題意識をもって校務に取り組んでいるか。	3. 2
3	教育のプロとして研鑽を積むため、積極的に研修に取り組んでいるか。	3
<p>意見・提案（課題・改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○やらないといけないことに追われて、自主的に研修に取り組む時間がとれていない。</li> <li>○職員全員で協力し合い児童生徒ひとりひとりの実態をしっかり把握して、今後に生かす。</li> <li>○チーム担任制により、年度初めや学期末などに慌ただしさを感じた。メリット・デメリットの検証をする必要があるのではないか。</li> <li>○業務改善について。データ入力して報告するものや申し込みをするものも多いので、メールで届く公文は全て係にもデータを転送してほしい。データがあると、校務サーバーを通して案内できる。また、データがなければ、紙面で回覧したり、案内の内容を要約して掲示板に載せたりしなければならない。昨年度は係にも全てデータが転送されていた。</li> <li>○業務改善について。テーマ研修（グループ研修）とクラス研修で話し合う内容が重複しているように思う。どちらも同じような内容で話し合うのなら、クラス研修を以前のクラス研修の内容（学級ごとの打ち合わせ、学習計画の確認、授業準備など）に戻していただくとありがたい。現在は月ごとの学習計画や打ち合わせ、授業準備などを放課後の会が入っていない時間で行っているが、なかなか時間を確保できずにいる。チーム担任制となり、学習の打ち合わせや指導体制など確認、共有しなければならないことも増えたので、クラス研修を学級打ち合わせの会として活用できないだろうか。</li> </ul>		
<p><b>【重点実践事項2】</b> 児童生徒の命と人権を尊重し、教育的ニーズと学習指導要領に基づいて教育課程編成を行い、楽しい授業づくりを行うとともにこれまでの実践や研究の成果をまとめ、引継ぐ。</p>		
1	一人一人の実態に応じて、自分の思いや気持ちを表現できるような楽しい授業づくりに取り組んでいるか。	3. 3
2	個別の指導計画の共有を行い、指導内容について更なる共通理解を図っているか。	3. 4
3	来年度の鹿児島特別支援学校の訪問教育学級への移行を見据えて、一人一人の実態に応じた教育課程の編成を進めているか。	2. 9
<p>意見・提案（課題・改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別には教育課程の編成に取り組んでいない。</li> <li>○学部会等で共通理解することにより、より良く取り組めた。</li> <li>○クラス研修では、以前のように授業の計画についての略案検討や準備等にはどうか。（テーマ研とクラス研修で行っている内容がほとんど同じである。また、以前のクラス研修は、係がとりまとめるのではなく、学級の時間として、学級ごとにて授業の計画・準備を行う時間にしていく。）</li> <li>○次年度は体育館で放送設備やライトを使った学習発表会や運動会等、大型遊具等を使った粗大活動、校外学習等もできなくなってしまうのか…。ただでさえ、生活経験ができない環境にいる子供たちなので、少しでも現在行っている教育活動・環境・時数を維持して欲しい。授業時数もこれ以上減らなければ良いと思う。県教育委員会や鹿児島特別支援学校等にも子どもたちの学習環境や機会を理解してもらい、環境や職員の人数等、可能な限りの活動ができるように検討して欲しい。</li> <li>○通学バス（やまびこ医療福祉センターまでの送迎）を利用して、保護者の同伴がなくても、鹿児島特別支援学校に、通学（日頃）、行事の時のスクーリングはできないでしょうか、児童生徒の実態によっては日頃の通学が可能ではないかと考えます。検討してほしいです。</li> <li>○閉校に向けて、子供たちの学習がスムーズに引き継げるように実践を深めていければと思います。また、来年度の変化について、子供たちがが見通しをもてるようにもしていきたいです。閉校式は、子供たちが皆与志での思い出を締めくくるものにしてほしいと思います。</li> </ul>		

<b>【重点実践事項3】</b> 保護者・やまびこ医療福祉センター，諸関係機関と連携を取りながら，支援体制の充実を図る。		
1	やまびこ医療福祉センターの看護部やリハビリテーション部等との情報交換の方法を工夫し，充実した連携を図っているか。	3. 5
2	保護者の教育活動への関心を高め，より一層の理解と協力を得られるように努めているか。	3. 3
意見・提案（課題・改善点等） ○それぞれの連携はとれていると思う。 ○やまびこ医療福祉センターの看護部やリハビリとの情報交換については，特定の担任が情報交換に参加し，紙面や映像，話し合いの中で互いに情報共有できている。 ○例年と違う提案等があっても職員で話し合い連携して取り組んだ。		
<b>【重点実践事項4】</b> 保健衛生，安全管理，感染症予防の徹底などに取り組み，安心・安全な学校環境づくりを行う。		
1	保護者ややまびこ医療福祉センターと連携し，学校における新しい生活様式に基づいた感染症対策を行っているか。	3. 7
2	定期的な安全点検や日常的な整理整頓をすることで，児童生徒にとって安心・安全な環境づくりに務めているか。	3. 5
意見・提案（課題・改善点等） ○職員や家族の感染状況，それぞれの職員の思いを聞きながら取り組んだ。		
<b>【重点実践事項5】</b> 特別支援教育に係る積極的な情報収集・発信に努め，センター的機能の充実を図る。		
1	学校ブログ等により，教育活動の様子や教育方針について外部発信に努めているか。	3. 2
2	地域の幼稚園・保育所，小・中学校等の要請に応じた巡回相談の充実を図っているか。また，事例の共有を行うことによってセンター的機能を発揮できるように準備を行っているか。	3. 3
意見・提案（課題・改善点等） ○管理職からもホームページや学校ブログに記事をアップされると良いと思う。 ○今年度は巡回相談の依頼件数が8月までに22件，ここ数年依頼のなかった学校や園からの依頼が増加しています。ニュースでも取り上げられていますが困り感のある子供の認識数が増え，特別支援教育への意識も（温度差はあるものの）少しずつ高まっているのかもしれない。家庭への支援も必要とするような困難事例も増えてきているため，よりアンテナを張って必要な情報を得たり研修を深めたりする必要を感じます。今年度は同行研修の希望を募り，現在3回の実施予定です。地域の学校の実情に触れていただく機会になればと思います。		

※ 評価【1：不十分である，2：やや不十分である，3：おおむね達成できている，4：十分達成できている】